

## カリキュラム（中級） / 環境構築 / 03\_sass

---

### 目的

---

- Sassの基本を理解する
- SCSS記法を使ってサイト開発ができるようになる

### 概要

---

#### Sassとは

Sass（サス）とはCSSのメタ言語で、簡単に言うとCSSをより効率的に書けるようにした言語です。Sassを使うとCSSではできないような、四則演算や、変数、ネストなどが使えるようになります。

#### 「SASS記法」「SCSS記法」とは

Sassには「SASS」記法と、「SCSS」記法の2種類の書き方があります。

#### SASS記法

インデントで依存関係を示すためシンプルに書けますが、慣れるまで時間がかかるのと、CSSとの互換性がないためあまり使われません。

```
div
  background-color: lightgray
  margin: 0 auto
  p
    padding: 0 0 0 10px
```

#### SCSS記法

CSSのように{}を使い実装し、依存関係も{}を使って表します。CSSと記述方法が似ているのでなじみやすいのと、CSSとの互換性がある（Sassの機能を使わない限り）為、こちらの記法がよく使われます。このカリキュラムでもSCSS記法を使用します。

```
div {
  background-color: lightgray;
  margin: 0 auto;
  p {
    padding: 0 0 0 10px;
  }
}
```

＊実践編では既にSassの開発環境を作成してあるので、記事内にある開発環境構築は不要です。

これからはcssはSassで書こう。

scssで出来ることまとめ

Sassの便利な8つの機能

## 実践

---

### 注意点

- work/03-sassフォルダで作業してください
- 03-sassに移動し、 **npm install**を実行しモジュールをインストールしてください
- 03-sassで **npm run start**を実行するとwebpack-dev-serverが起動し、<http://localhost:9000> にアクセスするとローカルサーバーが立ち上がります。（controll + c を押すとローカルサーバーを落とせます）
- エラーが発生した場合はエラーメッセージの該当箇所を修正し、再度npm run startを実行してください。

### 要件

- カリキュラム/初級/pc-siteのデザインを実装すること
- work/03-sassフォルダで npm run start を実行すると画面が確認できること

### 機能要件

- Sassの以下機能を用いて開発すること（extendやmixinは使用しなくても構いません）
  - import
  - ネスト
  - 変数（color、font-sizeの定義）
- サイトのヘッダー部分は\_header.scssに記述し、フッター部分は\_footer.scssに記述し、それ以外は\_main.scssに記述すること

---

### 添付ファイル (0)

---



白藤 卓也によって 2020/10/26 19:16:49 に作成されました。